



耐久 ～真健美～



令和3年度
和歌山県立耐久高等学校 全日制
Monthly Times
マンスリータイムズ 8月号

◆「世界との対話と協働」

アジア・オセアニア高校生フォーラム◆

ーオンライン開催、耐久生3名が参加ー

第7回アジア・オセアニア高校生フォーラムが7月26日～28日の日程でオンライン開催されました。



海外16カ国・地域と県内外の高校生が、オンライン上で世界共通の課題解決に向けて意見交換を行いました。

耐久生も3名が参加し、中村 望さん（2年生）は開会式で司会をつとめ、

分科会では木村文香さん（2年生）が「日本の高校教育におけるクラブ活動」について、三葛晃輔さん（2年生）が「世界に伝える先人の教えー将来の災害に備えるためにー」についてそれぞれ発表し、国内外の高校生と活発な意見交換を行い交流を深めることが出来ました。



◆サッカー部夏合宿◆

ー普段とは違う環境で練習に集中ー



串本町にある潮岬青少年の家で、7月26日～28日の2泊3日の日程で合宿練習を行いました。

「普段とは違う環境の中でどれだけ自分たちを追い込めるか」をテーマとして早朝からの走り込みから始まる早朝・午前・午後の3部練習のトレーニング、食事面・身体づくり面での意識の向上



などを図り、秋の選手権大会に向けてチーム力を高めました。合宿の仕上げには、串本古座高校との練習試合を行うことが出来、充実した合宿となりました。（サッカー部顧問 兵衛和樹）

◆剣道部活躍◆

ー高校総体近畿大会女子団体3位入賞ー



7月17・18日、京都市島津アリーナで開催された高校総体近畿大会男子団体、女子団体、女子個人の部に参加しました。男子団体は二回戦、京都府東

山高校との試合は接戦のすえ、代表戦となり、耐久2年榎本が京都府1位の選手と対戦、健闘したが、惜しくも敗れました。女子団体は、勝ち進み、耐久高校初の近畿3位入賞。選手全員がそれぞれの試合で活躍し、各府県上位校を次々に倒し、大会の台風の目となった。来年は近畿大会優勝を目指します。女子個人は2年大上が悔しくもベスト8、1年竹井が一回戦敗退。来年は入賞を目指します。

ー国体近畿ブロック大会女子個人2位、

国体出場権獲得ー



2年大上夏子が和歌山県代表として、8月22日、大阪市舞洲アリーナで開催された国体近畿ブロック大会に出場。2位で第76回国民体育大会（三重とこわか国体）出場を決める快挙を達成しました。和歌山県少年

女子の国体出場は平成27年の和歌山国体以来となるが、コロナ禍の中、後日、残念なことに国体の開催中止が決定されました。大上さんには、来年度最終学年での国体への出場と活躍を期待したい。

